

平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：作物】

1. 次の三つの用語について、簡潔に説明しなさい。(各300字以内)

- (1) DNA (遺伝子) マーカー
- (2) 種子更新 (又は種苗更新)
- (3) ミニマムティレッジ

2. 次の用語の中から二つを選択して、簡潔に説明しなさい。(各250字程度)

- (1) イネの湛水直播栽培における落水出芽法
- (2) 麦踏み
- (3) ダイズの倒伏防止技術
- (4) サツマイモ又はジャガイモの用途別品種特性
- (5) ソバの受粉・結実特性
- (6) チャの凍霜害防止法
- (7) ナタネのダブルロー型品種
- (8) サトウキビの側枝苗生産技術

3. 次の設問に解答しなさい。(1, 200字以内)

地球環境問題、加えて消費者の安全・安心志向の高まりなどから、環境負荷の軽減に配慮した持続的な作物の生産システムの活用が重要な課題になっている。このようなシステムにおける課題とその技術対策について、具体的な作物を例に挙げて説明しなさい。

平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：園芸】

1. 園芸における「病害虫の物理的防除」について、簡潔に説明しなさい。(250字程度)
2. 次の(1)野菜、(2)果樹、(3)花きのうちいずれか一つを選択し、その用語群の中から四つを選択して、それぞれについて簡潔に説明しなさい。(各250字程度)

(1) 野菜

- ① セル成型苗
- ② 養液栽培
- ③ ハイブリッド加温システム
- ④ クリーニングクロープ
- ⑤ イチゴの高設栽培

(2) 果樹

- ① 高接病
- ② 一挙更新法
- ③ 隔年結果
- ④ わい性台木
- ⑤ 非破壊品質評価法

(3) 花き

- ① 夏ギク
- ② 種子冷蔵処理(種子低温処理)
- ③ 閉鎖型養液栽培システム
- ④ 生分解性ポット
- ⑤ 鉢花の灌水法

3. 野菜、果樹、花きのうちのいずれか一つについて、次の設問に答えなさい。(1,300字以内)

地球温暖化の影響等による異常気象が原因と思われる生育異常の事例を挙げ、その事例の説明と対策を技術面から述べなさい。

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。(各250字程度)

なお、(1)については、必須課題として二つとも解答し、(2)については、用語群の中から三つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

- ① 必須アミノ酸
- ② 活性汚泥法

(2) 選択

- ① ハウ・ユニット
- ② 初生雛雌雄鑑別
- ③ SPF豚
- ④ 屠畜検査
- ⑤ 近交係数
- ⑥ クリープフィーディング
- ⑦ スタンディング発情
- ⑧ PLテスト
- ⑨ DCP
- ⑩ ストリップ放牧

2. 次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。なお、必要であれば具体的な畜種(乳牛、肉用牛、豚、鶏等)を例示して記述してもよい。(1,300字以内)

(1) 畜産では飼料自給率向上のため、資源循環型畜産経営の育成が進められている。現在又は過去のあなたの活動地域又は生活地域における資源循環型畜産経営の事例を一つ紹介し、その経営の今後の課題、指導方向等について簡潔に述べなさい。

(2) 近年、様々な家畜伝染病が発生し、畜産経営に大きな被害をもたらしている。こうした家畜の伝染病による損害をできるだけ少なくするとともに、畜産経営の復興を支援するため、普及指導員は日頃からどのように畜産経営と接していくべきかについて簡潔に説明しなさい。

平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：土壌及び肥料】

1. 次の土壌及び肥料に関する五つの用語について、簡潔に説明しなさい。(各250字程度)

- (1) 有効水分
- (2) ケイ酸質肥料
- (3) ハウス土壌の塩類集積
- (4) 可給態(有効態)リン酸
- (5) pH上昇効果

2. 次の設問に解答しなさい。(1,300字程度)

農業生産に伴う環境負荷を低減するための技術のうち、土壌肥料分野に関連する技術について、水稲作と畑作のそれぞれについて数例を挙げ、その要点を述べなさい。

平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：植物保護】

1. 次の八つの用語の中から五つを選択して、それぞれについて簡潔に説明しなさい。(全体で1,400字以内)

- (1) キク茎えそ病と媒介虫
- (2) スワルスキーカブリダニ
- (3) ウリ科野菜果実汚斑細菌病
- (4) コシヒカリBLによるいもち病防除
- (5) 気門封鎖型薬剤
- (6) 液体マルチ
- (7) おとり作物
- (8) モンキードッグ

2. 次の設問に解答しなさい。(1,200字以内)

病虫害・雑草防除に重要な役割を果たしてきた化学合成農薬の長所及び短所をそれぞれ述べよ。また、化学合成農薬の使用削減が求められている現在、あなたが考える今後の作物保護のあるべき姿を、普及指導上の問題点を含めて述べよ。

## 平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ

### 【選択項目：労働・機械及び農作業】

1. 次の設問に解答しなさい。(各250字程度)

- (1) 農用原動機の停止操作について、5種類以上を解説しなさい。
- (2) 農作業用の安全保護具について、5種類以上の名称と保護部分を挙げなさい。(名称は商品名としないこと)
- (3) OWAS法について、説明しなさい。

2. 次の(1)労働、(2)機械のうちいずれか一つを選択して、その設問①、②の両方について解答しなさい。(①、②を合わせて500字程度)

(1) 労働

- ① 園芸作物の高設栽培について、その得失を述べなさい。
- ② ヒヤリハット事故調査の意義と効果について述べなさい。

(2) 機械

- ① 果樹の樹形改善の目的と期待される効果及び問題点を解説しなさい。
- ② 農業機械にはディーゼル機関が多く用いられているが、その理由を説明しなさい。

3. 次の二つの設問の中から一つを選択して、解答しなさい。(1,300字程度)

- (1) 日本の農業労働力の構成を概説し、その長所及び短所を挙げ、それぞれの展開方向や改善方向を述べなさい。
- (2) 農作業安全講習会を開く際に、多くの参加者を集め、効果的な講習会とするために必要と考えられることを述べなさい。

平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ

【選択項目：地域計画及び環境】

1. 次の用語の中から五つを選択して、簡潔に説明しなさい。（各200字以内）
  - (1) 田の字型住宅
  - (2) 食物連鎖
  - (3) 生産緑地
  - (4) 集落支援員
  - (5) K J 法
  - (6) エコミュージアム
  - (7) 生活改善グループ
  
2. 次の全ての設問に解答しなさい。（各800字以内）
  - (1) 地域にある里山とそれに続く斜面地から谷津田（谷戸）を住民に呼びかけて保存するために検討すべき項目を三つ挙げ、それぞれについて具体的に説明しなさい。
  
  - (2) 現代の私たちの暮らしの中で、農作物の自給栽培がもたらす効果を、農業者、都市消費者それぞれについて具体的に説明しなさい。

平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：流通及び加工】

1. 次の用語について、農畜産物の流通及び加工の視点から簡潔に説明しなさい。(各200字以内)

- (1) プッシュ戦略とプル戦略
- (2) 卸売市場の委託手数料
- (3) 米粉(こめこ)
- (4) レトルト殺菌
- (5) 乳酸菌

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600字以内)

地域を活性化するため、農林漁業者と商工業者がそれぞれの有する経営資源を持ち寄り、新商品・新サービス開発等を行う試み(いわゆる農商工連携)が全国各地で進められている。あなたの地域で立ち上げたい農商工連携の方策を述べなさい。



平成22年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：経営管理】

1. 次の用語の内容を、簡潔に説明しなさい。(各200字程度)

- (1) 農用地利用改善団体
- (2) 圧縮記帳
- (3) 非消費支出
- (4) 経常利益
- (5) 固定長期適合率

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600字以内)

稲・麦・大豆を主作物とする集落営農組織において、新規部門として園芸作物や農産物加工などを導入するにあたって、地域の女性や高齢者、若手農業者が参画することが考えられる。この場合の集落営農組織の事業展開や役割分担関係、経営管理のあり方について、どのように指導したらよいか、あなたの考えを述べなさい。